

価の対象となる項目を3項目選定し、図書館に送付し自己評価を依頼する。

令和7年6月、図書館は外部評価の対象となった3項目について自己評価を行い様式2「令和6年度多摩市立図書館事業評価【自己評価】」を作成し、7月開催の図書館協議会に向け、図書館協議会委員に送付する。

令和7年7月、第2回図書館協議会で図書館は様式2「令和6年度多摩市立図書館事業評価【自己評価】」の図書館の自己評価について説明する。図書館協議会委員は、「令和6年度多摩市立図書館事業評価」をもとに、評価の対象とした3項目について協議いただく。

令和7年7月から8月、図書館は、図書館協議会の外部評価について評価・意見をとりまとめ、図書館協議会委員に送付する。8月下旬、令和7年第3回図書館協議会では外部評価の結果を様式3「令和6年度多摩市立図書館事業評価【外部評価】」にまとめ決定する。

9月から10月図書館は、第4回図書館協議会で、外部評価を踏まえた今後の方向性をまとめ「令和6年度多摩市立図書館事業評価」を決定し、図書館協議会へ報告する。その後、評価結果を踏まえ、令和8年度の図書館事業計画策定に着手する。令和7年度の事業について、評価結果を反映できるものについては、改善策等を盛り込みながら実施する。

資料4事業評価対象項目は、基本目標(1)から(5)の中から3つの項目を選び自己評価及び外部評価の対象とする。選定する項目については、前年度に図書館事業評価で評価対象としたものは除き、網掛けをしてないものから選ぶものとする。基本目標(5)にある取り組み12と15はすでに目標を達成しているため対象外、11と16は今年度評価対象のため対象外となる。

会長 事務局から説明のあった議題1について、質問・ご意見等があれば発言をお願いします。

評価項目についての事務局提案は、今年度と同様とのことである。項目は選ぶが評価の方法については踏襲してはどうか。

企画運営担当1主査 補足として資料4は、評価した年度を項目に盛り込んでおり、いつ実施したか分かるものとしている。今年度はこれまで評価していない項目を対象とすることにしたが、来年度の評価対象は、図書館としては評価の実績をみて、選ぶ方法を考えている。

- 委員 来年の5月に3つの項目を選んだとしても、来年度からは計画が新しくなるため、基本目標を変更する可能性がある。項目が継続されるわけではないので、その時はあらたに項目を選ぶということになると考えてよいか。そうであれば、やり方について、問題はない。
- 図書館長 計画ができるのが年度の途中であり、9月頃に計画が決定する予定。令和7年の当初は計画ができていないので、元の計画を継続しながら次に繋げる必要があると考えている。
- 会長 今回の評価項目の選定については、従来通り。来年度は計画完成が年度途中なので新しい計画から選定することは難しいと思われる。評価方法、スケジュールについて良いか。
- 副会長 次期計画は、令和8年度からスタートするのか。議会にかけるのは12月か。
- 図書館長 令和7年の9月頃から開始となる予定である。9月に教育委員会と経営会議で報告、決定、議会への報告が12月という予定である。
- 会長 計画が決定した時点で、計画がスタートとなる。異論なしで、事務局案通り進めることとする。
- 会長 議題2 次期計画における基本理念・目標・施策内容・計画名称について、事務局から説明をお願いします。
- 図書館長 資料5（仮称）「第二次多摩市読書活動振興計画」策定スケジュールについてである。令和6年度の記載について、策定委員会は課長級の会議である。令和6年度は計6回、第3回を9月に開催。その下は有識者会議で、8月の第2回は台風で市の避難指示が出たこともあり中止とした。次回は10月予定であり、11月に追加で開催予定。3月の教育委員会で素案について決定する。その他は本日の図書館協議会や学育審などに意見照会かけていく。また、市民説明会を実施予定である。2月の図書館協議会では、ある程度素案の形がみえているので、再度、意見照会する。4月には決定した素案の市民説明会を実施する。その後パブコメを経て決定する。9月に計画決定をし、図書館協議会には10月に報告するものとする。
- 資料6 一般向けアンケート実施結果である。実施期間は、3月で中学生以上を対象にアンケートを実施した。配布枚数は紙で1300枚、回収枚数は紙379枚、WEB279件であり合計658件であった。紙の回収は379枚だが、WEBでの

回答もあった為、回収率は29.2%となる。2ページのクロス集計結果によると、図書館利用状況は60代から70代が多い。

3ページの図書館に関する情報収集については、図書館HPが一番多く、続いてたま広報が多くなっている。HPは50代から70代が多くなっている。

5ページの図書館の利用頻度は、曜日・時間を問わず利用されている。平日利用は60代、70代が多い。土日は30代・40代・50代が多い。職業別では会社員、団体職員、公務員の土日利用が多く、時間帯は年代別でみると午後の利用が多い。

7ページの最もよく行く図書館について、中央図書館が一番多いことが分かる。30代から40代は中央図書館の利用が多く、駅前拠点館としての永山図書館も多くなっている。自営業・フリーランスの利用が比較的多く、中央図書館に次いで永山図書館の利用が多い。

9ページの図書館サービスの満足度についてである。開館日・開館時間は満足・ほぼ満足がほとんどである。本の種類はやや満足が多く、予約・リクエストは満足、職員の接遇は満足が多くなっている。開館日と予約リクエストは多摩市民が満足と回答している。

11ページの図書館サービス満足度について、本の探し易さはやや満足、館内の雰囲気は満足の回答が多い。

13ページの「最もよく行く図書館」の次によく行く図書館について、永山図書館が多い。年代は、50代から70代が多く、職業別では、会社員・団体職員・公務員が多い。

15ページの多摩市立図書館を利用しなくなった理由としては、本を読まなくなったとの回答が多いが、若い世代は回答数が少ないので参考値である。

17ページの普段の読書環境についての設問、読書の頻度は月に1から3冊が一番多い。図書館利用者が増えている一方、冊数が伸びていないのは一人当たりの冊数が減少しているということだと思われる。本の入手方法については図書館や電子図書館で借りるが多い。

19ページの普段の読書環境について、よく読むジャンルは文学が多くなっている。

21ページの多摩市立図書館のサービスの認知度について、「商用データベースは「知らない」が多く、多摩市に住んでいても

知らない人が多い。レファレンスサービスは、「知っているが利用していない」が多く、同様に多摩市在住で「知っているが利用しない」が多くなっている。よって利用者が利用し易い対応が課題と考えている。

23ページの多摩市立図書館のサービスの認知度について、障がい者サービスは「知っているが利用していない」が多く、「知らない」も多い。講演会や朗読会などのイベントも「知っているが利用していない」が多くなっている。

25ページの非来館サービスの認知度について、図書館HPから本の予約・貸出期間延長を利用する人が多い。電子図書館は知らない人が多いため、知ってもらうことが課題であり、利用することにハードルを感じる人が利用し易い様にしていく必要がある。

27ページの非来館サービスの認知度について、現在ナクソス・ミュージック・ライブラリーはPCのみでの利用なので、スマホも対応できるように進めており、スマホ対応ができるようになれば利用ももう少し増えると思われる。

29ページの障がい者サービスの認知度について、認知度が低いいため認知度を上げる必要がある。

資料7子どもたちへのアンケート結果である。対象は小学2年生から大学生で実施した。本を好きか、という設問には高校2年生以外は「好き・どちらかという好き」と答える割合が多い傾向である。高校・大学生は1から3冊／月の読書が一番多い。授業以外で学校図書館に行くか、の設問には、学年が進むにつれて行かなくなり、図書館離れの割合を減らすことが課題となる。スマートフォンやタブレットで読書をするかの問いには、しないが大半で、電子図書館の認知度はどの学年も低いことが分かる。子どもに関わるアンケート結果では、妊婦面接・両親学級・乳児検診では「子どもと図書館を利用したいと思うか」という問いに、「子どもと利用したい」と回答したのが57%である一方、子どもが1歳半から3歳を迎えると「子どもとよく利用する・時々利用する」と答えた割合は、41%にとどまっている。

読み聞かせの頻度についての設問で、児童館、学童クラブ、幼稚園・保育園、学校図書館司書に伺ったところ、ほとんどの施設において定期的に読み聞かせを実施している。団体貸出の利用については、児童館、幼稚園・保育園については半数程度、

学童クラブは70%を超える利用があり、学校による調べ学習での利用についても70%を超える学校が利用している。

資料8 現行の多摩市読書活動振興計画の体系図が片面にあり、裏面は現在検討中の体系図である。検討中の体系図については、資料9をもとに説明する。

資料9（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画の骨子案概要にあるとおり、基本理念は、「市民の『知る』『学ぶ』を支援し、地域をつなげる～『知の地域創造』の実現へ～」としている。その下に基本方針が4つある。これらの内容は、現在有識者会議においても検討中であることから内容が変更することもあることをご承知おきいただきたい。

① 「だれもが使える図書館」1-1から1-5説明

② 「一人ひとりの子どもに寄り添うサービス」2-1から2-5の説明。

③ 「市民のしらべるを支え、つながる図書館」3-1から3-6の説明。

④ 「管理・運営体制の充実と強化」4-1から4-4の説明

資料10 基本方針4つの下にある施策ごとに想定する取組を記載したものである。

資料11から13は、近隣市の基本計画の概要版である。

会長

今の説明に基づいて、質問や意見があればお願いしたい。

今回策定する計画は、基本理念・基本方針・施策の並び順を変えている。以前は目標が先にきて、基本理念が後だった。資料8にある今後の基本的な考え方6に記載している基本方針（2）の文言について、4つに整理としているが、5つある。4から5に修正でいいのか。

図書館長

資料が修正できておらず、誤りである。検討の過程で4から5に増やしているところである。

委員

資料9 基本方針2にある施策2-5は多摩市立小中学校への支援とあるが、多摩市立小中学校でないといけないのか。多摩市には私立学校や高校、大学もあり各連携をしている。多摩市立小中学校と限定せず学校と広くとらえればよいのではないのか。

図書館長

多摩市立小中学校は、図書館システムなど特別に対応をしている状況である。私立小・中学校は、2-4にある団体として別途対応と考えており、多摩市立とは違う施策に記載する予定。

会長

近隣市の計画として、資料11から13事務局で3市分準備

いただいた。日野市と武蔵野市はこども計画を別に持っており、図書館としての計画は独自に策定している。八王子市は多摩市と似ており合体型である。特に八王子は本計画で図書館を中心と位置づけている。八王子市の策定方法も多摩市と似ており、教育委員会の管理職をいれた諮問機関、有識者会議など多摩市の構成と似ている。今月末に有識者会議が実施されるので、皆さんの意見をもっていきたいと考える。

委員 基本方針2-5の具体的な取り組みに教職員の働きかけが入っているが、こちらも必要だが、図書館司書との連携も入れたほうがいいのではないかと。調べ学習の支援で図書館司書との連携が含まれているかもしれないが、図書館司書という文言を入れた方がいいのではないかと。

図書館長 ご意見有り難い。まだ、項目内容については検討中なので学校との連携で分かり易いなら「図書館司書」の文言を入れても良いと考える。

委員 基本方針1-2に電子図書館の推進が入っているが、若年世代にだけ関わる項目ではないのではないかと。電子図書館は、この項目に入れるのが望ましいのか。

図書館長 基本方針3の3-4に電子図書館を入れても良いかと、若者世代だけの視点ではないので改めて検討する。

副会長 多摩市読書活動振興計画は、子どもの読書推進活動を入れ込むので、子どもの部分をもっとしっかりと纏めるべきだと考える。

基本方針2-5は、多摩市立小中学校ではなく、私立学校にも子どもがいるので、多摩市内の学校とするべきだと思う。2-4で私立学校が含まれると説明があったが、そうではないと考える。

委員 多摩市立小中学校との連携とはっきり区別しており、何か意図があったのかもしれないが、今までは学校図書館となっている。

副会長 学校図書館を明記することで、学校支援に具体性が出る。

委員 学校図書館もどこかの項目に入れ込んで欲しい。

会長 「教職」は学校司書もいれた教職という意味か。

図書館長 学校司書も含めて、教職ととらえている。

副会長 学校図書館との連携とすればよいのではないかと。

図書館長 色々意見いただいたので検討する。

副会長 今回アンケートをとったとのことであるが、アンケートを元

にどう利用したのか明確にすべきである。アンケート結果をどう計画に盛り込むのか。また回答数だけでは、総数が分からないので各年代別でどの程度の割合で望んでいるのかアンケート結果を抽出して活用すべきである。

図書館長 アンケート結果を受けて、次の計画に反映するよう明確にしていきたい。

会長 副会長のご意見は、アンケート母数が分からないといけないとのこと。アンケート結果を明確に反映すべきである。

委員 私は国際交流センターでボランティアしている。基本方針1－4多文化サービスの充実が図書館運営に盛り込まれており良い。10月に実施したアンケートについては、今回の計画案に間に合ったのか。

企画運営担当1主査 今回の計画案には間に合わず、反映していない。

会長

事務局として、新計画の目玉は何か。問題意識や何を課題として考えているか。

図書館長 重要視したいのは、子どもの取り組みである。また、新規に各図書館（7館）の在り方、サービス、役割を盛り込みたいと考えている。図書館ネットワークを生かして、それぞれの役割を明記する

会長 多摩市の場合は、地域館に特徴があるので、地域の特性を活かすのがよい。

委員 OPAで外国人によるスピーチ大会があり、私と一緒に日本語を学習している若者が豊ヶ丘図書館について述べた。彼は豊ヶ丘図書館をただの本を借りる場所ではなく、隠れ家の様で日常を忘れさせてくれる場所であると言っている。改めて地域図書館の重要性を感じた。

委員 基本方針の4－1に各館の特性を生かした運営を入れて欲しい。各図書館に特色があると思うので活かした運営をして欲しい。4－4には職員相互の情報交換や共有についても文言を入れたほうが良い。

図書館長 4－1、4－4の文言について検討させていただく。

副会長 多摩市は、7つも素敵な図書館施設がある。使い方は、色々なバリエーションがあるので、機能強化だけではなく特色を出し、色をつけて文言に入れてもらいたい。また図書館の人材育成計画はあるのか。横浜市の育成計画が出たがすごくよいので、

ぜひ参考にしてもらいたい。私の手元にあるので、必要であれば提供する。

図書館長 人材計画は策定を進めているところである。横浜市の人材育成計画はぜひ参考にしたい。

副会長 各地域館のよいリソースがあるので、多摩市独自の振興計画ができるとうい。

委員 多摩市に在住している外国人の中には、日本語の会話力に長けている人もいるが、そうでない人もいる。多摩市の外国人はここ1年で1,000人増えて3,000人程であり、今後更に外国人が増えることを考えると、優しい日本語を盛り込むことも多文化の中では大事だと考える。

会長 多摩市の図書館は、従来の図書館の枠を超えて、広い意味での公共施設として、もっと多摩市の行政窓口の一つとして機能して欲しい。

図書館長 図書館も複合館として、他の施設と一緒にしているのが多く、地域館は改修も予定されている中で、コアな部分を残しながらどう融合して行き来するのが課題になっている。

会長 一般的に市役所に訪問する際は明確な目的がある。一方で、図書館は明確な目的がなくても、楽しいから、時間があるから等状況的に行きたいと思った時に訪れる場所であり、市民に近い公共施設としての役割を果たして欲しい。

会長 計画名称はどうするかと事務局から話があったがご意見あれば伺いたい。

副会長 運営する母体は図書館だが、市の読書振興計画としたら「図書館基本計画」は適さない。分かり易く人を惹きつけるような名称があればよい。

会長 図書館がメインというのを出すという意見もある。計画名称は今決めなくても、中身を精査していく上で最後に決めてもよいのではないか。時間の制限もあるが、傍聴されている方がいるので、感想など聞くこともよいが、副会長はどう考えるか。

副会長 委員長が認めるなら傍聴人のご意見を貰うのもよいと考える。

(傍聴人発言)

会長 難しい問題である。市の公共施設整備計画の中でも資源をどう配分するか、検討しないとはいけない。

図書館長 図書館計画も市の計画なので、全体を見据えながら検討した

い。

会長 それでは報告 1 について事務局から説明をお願いします

図書館長 資料 1 令和 5 年度の多摩市立図書館事業評価について報告する。基本目標 2 の子どもへのサービスの充実については 7 ページにある前回協議会で外部評価をいただいたので方向性を示した。実施結果の②にあるブックリストの作成、改訂③外国語資料の収集、多文化に対応した資料の充実、提供を進める。国際交流センターと連携し、情報発信に努める。⑧支援の必要な子どもたちについては、多摩市立図書館ニュースについて、市内の療育センターなど子どもたちが通う施設での配布を検討する。図書館内や子育て支援センターで、子育て応援ブックリストを配置する⑩子どものイベントとして、提案いただいた通りシールを使った簡単アンケートなど意見収集をしていきたい。⑫団体貸出サービスについて、利用しやすい仕組みへの改善。貸出返却はインターネット申し込みなので活用方法などアンケートで皆さんのお声を頂戴する。9 ページの本館の機能強化として、ビジネス関係の資料を充実させ、経済観光課との取り組みを連携。雑誌は電子図書館で電子書籍の充実を務めているが、来館者の興味の幅を広げるよう、分散させて配下をしており、雑誌の所在が分かり易い様案内方法を検討する。ICT の活用について、セルフ貸出機や Wi-Fi、電子図書館について、電子機器が不慣れな方への利用説明会の実施、デジタルサイネージの定期的な更新、へなそうの部屋のデジタルサイネージの認知度の向上を図るため情報の更新・追加をする。前回協議会で外部評価をいただいて、図書館の今後の方向性を示したものである。

委員 一部訂正をお願いしたい。6・7 ページにある多摩市国際交流センターが正式名称である。7 ページの 12 番とあるが 11 番である。

会長 文言の修正をお願いします。

会長 令和 6 年度多摩市図書館事業評価については確定とする。
これで令和 6 年度多摩市図書館協議会第 4 回定例会を閉会する。

図書館長 次回の協議会は、令和 7 年 2 月 13 日（木）で開催する。詳細は別途通知する。